

(様式7-3)

政務調査活動・先進地調査等 報告書

平成30年7月19日

三田市議会議長 今北 義明 様

本会派(私)は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	新政みらい	代表者		印
		議員名	田中 一良	
派遣者氏名	田中一良			
視 察 先	上山市 天童市			
調査事項 (調査目的)	上山市・・・かみのやま健康マイレージ事業 天童市・・・①駒やかカイゼン運動事業 ②結婚サポーター事業			
日 時	平成30年7月4日(水)～ 30年7月5日(木)			
視察先対応者	上山市・・・上山市議会 副議長 尾形みち子氏 健康推進課 健康増進係長 尾形 洋介氏 天童市・・・天童市議議会議長 赤塚幸一郎氏 総務部 市長公室 室長補佐兼政策企画係長 武田 芳仁氏 室長補佐兼まちづくり推進係 係長 長澤 和彦氏 行政主査 栗原 美幸氏			
添付資料	・上山市・・・「平成30年度 かみのやま健康マイレージ事業」 「上山市の状況」 ・天童市・・・「駒やかカイゼン運動」について 「平成28年度 駒やかカイゼン運動 一覧」 「天童市結婚サポーターについて」			

調査日時	30年 7月 4日 (水)	14時45分～ 16時15分
視察先	山形県上山市	
調査事項	かみのやま健康マイレージ事業	
(調査結果の概要及び所見)		
別紙添付		

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)

平成 30 年 7 月 19 日

新政みらい会派視察報告書

田中一良

(1) 上山市

調査事項 かみのやま健康マイレージ事業

★概要

本事業は、市民の健康意識の向上と行動変容を図ることを目的に、かつ楽しく健康づくりができる仕組み作りとして考えられた。

当初は、ポイントに対して市内商業施設の商品券を渡すことを考えていたが、もので釣るような方法は如何なものかとなり、やり直すこととなったそうである。

各種健(検)診やクアオルトウォーキング、集団で行う運動・教室等(健康づくり講演会、研修会、講座、各種教室等)などの10ポイントコースと、個人で行う運動(ラジオ体操、ヨガ、ストレッチなど)や栄養に関する行動(塩分を控えるなど)、口腔(食後の歯磨きなど)、自ら立てた健康づくりの目標(休肝日、禁煙日、30分以上歩くなど)などの毎日コツコツコース(1日1ポイント)を設け、30ポイントを目標に各自健康づくりを実行する方法をとられている。

ポイントは自己管理、自主申告で行い30ポイント貯まったポイントカードを提出すれば、「やまがた健康づくり応援カード」を発行となる。

「やまがた健康づくり応援カード」は、健康づくりに協力する県内の店で提示すると、それぞれの店独自のサービスが受けられる。

「やまがた健康づくり応援カード」の発行は年度内に一人1枚、有効期限を発行から1年とする。

毎年3月に公開抽選とし、当選者には健康グッズ等をプレゼントしている。

現在、市内の飲食店等21店舗が参加している。山形県全体では640店舗が協力している。

◆平成26年度に山形県から上山市の健康マイレージ事業の視察があり、その後、平成27年度から山形県事業として、全県的に実施することとなった。上山市を含め20市町村が事業を行っている。

★所見

上山市の事業に山形県が相乗りし全県的なものとなっている。

上山市においては、かみのやま健康マイレージの参加者はまだまだ少なく、事業としての価値からするともったいないと感じました。

平成29年度からは市内事業所や団体等も対象としている。

やはり市民の関心、参加を促す手立てを考えなければならないと、上山市も考えておられま

した。

しかし、健康寿命を延ばす等のためには有効な手法であると考える。

シニアの参加者を意識してあえて紙ベースとされているなど、苦慮されているのが感じられた。

三田市は今後急激な高齢化を迎えるわけであることから、高齢者の健康寿命を延ばす施策の一つとして取り入れを検討するべきではないかと考えます。市民への周知・PRを参加者する個人・団体等広く行い、ポイント還元参加店舗・事業所の増加も考慮した施策を検討してはと考えます。

調査日時	30年 7月 5日 (木)	9時30分～ 11時30分
視察先	山形県上天童市	
調査事項	駒やかカイゼン運動事業 結婚サポーター事業	
(調査結果の概要及び所見)		
別紙添付		

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)

(2) 天童市

調査事項 ①駒やかカイゼン運動事業

◆概要

① 駒やかカイゼン運動

当市は、将棋駒の生産量日本一を誇る。平成 25 年度から各課に配置された業務改善リーダーを中心に「駒やかカイゼン運動」を実施している。市民サービスや業務の効率化、経費の削減などに繋がる取り組みを 1 課 1 提案以上で実施するものです。職員の資質向上や政策形成能力の向上を目的としている。

従前より職員の提案制度はあったが、年々提案件数も減少し無い年度もあった。市役所改革の観点から平成 25 年度より「駒やかカイゼン運動」として新たに展開した。約 30 名のリーダーを養成し進めている。

平成 25 年度 67 件、平成 26 年度 52 件、平成 27 年度 45 件の実績。
平成 28 年度 54 件、平成 29 年度 より“マンネリ化”等の為、休止となった。

★所見

職員数の減少や業務の複雑化などで 1 課 1 提案というシステムで良いのかと検討の為に一旦休止している。三田市においても「職員提案制度」は有るものの低迷しているように思われる。今後は、提案のしやすさ、評価等しっかり検討するべきと考える。また、職場の雰囲気や環境整備、モチベーションの維持をどうするか、ボトムアップができる組織を考えなければならないと思います。

◆概要

② 結婚サポーター

晩婚化及び未婚化対策を図ることを目的として、平成 29 年度からスタートした。結婚を希望する独身男女が天童市結婚サポーターに直接連絡し、本人面接のうえ、申込書、プロフィール、写真を提出する。

結婚サポーターがお似合いのお相手を探し、お互いがお見合いに合意したら、お見合いを設定する。

現在（平成 30 年 5 月末）

天童市結婚サポーター	11 人
お見合い登録件数	53 人{男性 41 人、女性 12 人}
お見合い組数	5 組
成婚数	0 組

★所見

天童市のこの事業は取り組んでまだ日も浅く実績がないのも理解する。

平成 27 年度 未婚者数{男女合計}	30 代 2,391 人
	40 代 1,437 人

50代 851人（合計 4,679人）

天童市人口 62,053 人を加味して考えると、深刻な問題である。

三田市とは人口構成も違い比較しがたいが、近年の晩婚化、未婚化は見過ごすことができないと考える。民間でも、ネットでも婚活が進む現在ではあるが、離婚率も伸びており出会いの大切さはますます増加すると推察する。その点からも安易な取り組みは慎むべきとも考えるのである。ともあれ、将来の日本を考えると、晩婚化・未婚化は重大な問題であるので、いずれ三田市においても参考にしたいと思います。